



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月15日

上場会社名 不二硝子株式会社
 コード番号 5212 URL <http://www.silicox.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小熊 信一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 丸山 光二
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3617-5111

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	2,452	0.9	35	29.8	66	28.9	46	59.3
2019年3月期	2,474	1.3	27	57.7	51	42.6	115	122.8

(注) 包括利益 2020年3月期 145百万円 (31.3%) 2019年3月期 212百万円 (29.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	22.78		1.7	1.7	1.5
2019年3月期	55.94		4.5	1.4	1.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	4,016	2,838	68.7	1,341.90
2019年3月期	3,832	2,709	68.6	1,279.19

(参考) 自己資本 2020年3月期 2,758百万円 2019年3月期 2,629百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	159	71	68	642
2019年3月期	246	48	104	622

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期				7.50	7.50	15	13.4	0.6
2020年3月期				7.50	7.50	15	32.9	0.6
2021年3月期(予想)				7.50	7.50		44.0	

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,300	3.3	35	49.8	55	33.1	30	41.8	14.59
通期	2,400	2.2	40	11.2	60	9.3	35	25.3	17.03

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	2,142,000 株	2019年3月期	2,142,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	86,243 株	2019年3月期	86,243 株
期中平均株式数	2020年3月期	2,055,757 株	2019年3月期	2,055,757 株

(参考)個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	2,452	0.9	19	239.8	59	53.7	44	59.2
2019年3月期	2,474	1.3	5	84.0	38	42.5	110	161.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	21.88	
2019年3月期	53.64	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2020年3月期	3,685		2,543		69.0	1,237.49		
2019年3月期	3,519		2,416		68.7	1,175.67		

(参考) 自己資本 2020年3月期 2,543百万円 2019年3月期 2,416百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	1,300	3.3	35	43.6	25	41.9	円 銭
通期	2,400	2.2	55	7.1	30	33.3	12.16
							14.59

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
(6) 事業等のリスク	4
2. 企業集団の状況	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
5. その他	15
生産、受注及び販売の状況	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、各地で異常気象による災害等があった一方で、2020東京オリンピックに向け国内はかつてない勢いで景気回復を果たしてはりましたが、2020年1月以降の新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、政府による外出制限等の要請により景気後退を余儀なくされ、雇用情勢の不安も重なり予断を許さない状況が続いております。さらに世界的な拡大に伴い世界経済の下振れも懸念され不透明な状況が続いております。

当社グループの属する医薬容器業界は、主需要先の医薬業界において、昨年10月の消費増税に伴う薬価改定の実施や毎年薬価改定への動きを受け経営戦略等のさらなる見直しが進み、当業界の主力製品である「アンプル・管瓶」の需要が低調に推移した厳しい経営環境にありました。

このような環境下、当社グループといたしましては、新型コロナウイルスに対して徹底した感染予防を講じて生産及び営業活動を停止することなく操業を行い、主要製品はじめ関連商品の安定供給及び諸経費の削減や品質水準向上に全力を注ぎ、業績の向上に努めてまいりました。また、政府からの要請で保育施設及び教育機関等の停止を受け、従業員家族の安全確保を目的に自宅待機を会社都合で指示したものが数名出ましたが、大きな支障はなく新型コロナウイルス感染症に関連した売上の減少はありませんでした。

当連結会計年度の売上高につきましては、「アンプル」の売上が減少したことで前年を下回り、売上高2,452百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

利益面につきましては、稼働率・製造歩留りの向上及びさらなる経費削減に取り組んだ結果、営業利益35百万円（前年同期比29.8%増）、経常利益66百万円（前年同期比28.9%増）とそれぞれ増加しましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は46百万円（前年同期比59.3%減）と減少しました。このことは、前連結会計年度に不動産の売却が行われ特別利益として固定資産売却益120百万円を計上されたことが大きな要因であり、それを考慮し除けば増加しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は1,863百万円（前連結会計年度末は1,820百万円）となり、43百万円増加しました。これは商品及び製品の減少（317百万円から276百万円へ41百万円減）した一方で、現金及び預金の増加（583百万円から618百万円へ35百万円増）、受取手形及び売掛金の増加（598百万円から630百万円へ32百万円増）及び有価証券が増加（234百万円から252百万円へ17百万円増）したことが主な要因であります。

当連結会計年度末における固定資産の残高は2,152百万円（前連結会計年度末は2,012百万円）となり、140百万円増加しました。これは有形固定資産が減少（893百万円から887百万円へ5百万円減）した一方で、投資有価証券が増加（1,070百万円から1,214百万円へ144百万円増）したことが主な要因であります。

(負債)

当連結会計年度末における負債の残高は1,178百万円（前連結会計年度末は1,123百万円）となり、54百万円増加しました。これは1年内返済予定の長期借入金が増加（135百万円から111百万円へ23百万円減）及び長期借入金が増加（106百万円から78百万円へ28百万円減）した一方で、繰延税金負債が増加（258百万円から301百万円へ43百万円増）及びその他の増加（106百万円から153百万円へ46百万円増）したことが主な要因であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は2,838百万円（前連結会計年度末は2,709百万円）となり、129百万円増加しました。利益剰余金の増加（1,903百万円から1,934百万円へ31百万円増）やその他有価証券評価差額金が増加（652百万円から749百万円へ97百万円増）したことが主な要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ20百万円増加し、当連結会計年度末には642百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、159百万円(前年同期246百万円の収入)となりました。これは主に受取配当金及び受取利息18百万円、売上債権の増加32百万円及び法人税等の支払額25百万円があった一方で、税金等調整前当期純利益72百万円、減価償却費56百万円、たな卸資産の減少48百万円及び未払消費税等の増加23百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、71百万円(前年同期48百万円の収入)となりました。これは主に定期預金の払戻による収入213百万円があった一方で、定期預金の預入による支出245百万円及び有形固定資産の取得による支出43百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、68百万円(前年同期104百万円の使用)となりました。これは主に新規の長期借入れによる収入100百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出152百万円及び配当金の支払による支出15百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	65.0	64.5	65.9	68.6	68.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	23.4	25.9	31.6	28.7	20.1
キャッシュフロー対有利子負債比率 (年)	—	1.6	1.6	1.0	1.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	58.5	57.4	91.5	84.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュフロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
 2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
 3. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。
 4. 営業キャッシュ・フロー及び利払いは連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、当医薬容器業界におきましては、主たる得意先である医薬品業界において、政府による薬剤費の抑制傾向がますます強まって、引き続き厳しい受注環境となることが推測されます。

このような状況のもと、主力製品を中心に販売促進を強化するとともに、徹底したコストダウンの推進と財務体質の改善を図り、さらに新型コロナウイルスの感染収束が見通せない状況の中、引き続き徹底した感染予防を行い、安定供給と業績の向上に努めてまいります。

次期の連結業績の見通しにつきましては、現在は医薬品業界において新型コロナウイルス感染症による直接的な売上の影響は軽微と思われ、例年通りの基準で業績予想の算出を行い、売上高2,400百万円、営業利益40百万円、経常利益60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益35百万円を見込んでおります。

(5) 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題と考え、業績及び配当性向等を総合的に勘案し、安定的・継続的な配当を実施して、株主の皆様のご期待にお応えする所存であります。

内部留保につきましては、高度な品質を求められる厳しい経営環境に対応するために、研究開発及び生産・販売の合理化投資と事業活動の安定化のための財務体質強化に充てる予定であります。これら投資は将来における収益確保に不可欠のものと考えております。

2020年3月期におきましては、利益分配に関する基本方針および今後の事業展開等を勘案いたしまして、1株当たり期末配当金を7円50銭にする旨を定時株主総会に付議させて頂く予定です。

次期の配当につきましては、上記の基本方針及び今後の業績見通し等を勘案した結果、1株当たり期末配当金は7円50銭を見込んでおります。

(6) 事業等のリスク

当社グループの業績は、今後起こりうる様々な要因により影響を受ける可能性があります。当社グループの業績に影響を及ぼす可能性のある主なリスクとしては、以下のようなものが考えられます。

① 市場の変化

主需要先である医薬品業界における市場の変化やインフルエンザの発生動向等により、当社グループの売上は大きく影響を受ける可能性があります。

② 法令または規制の変化

主需要先である医薬品業界の医薬品事業は、薬事規制や製造物責任等の様々な法規制に関連しており、法規制の制定や改定により当社グループの製品を包装材料として使用する医薬品の製剤中止や生産量が減少する可能性があるため、これらの法令または規制の変化が、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

③ 薬価の改定

主需要先である医薬品業界において、医療費抑制政策の一環として医療用医薬品の薬価が概ね2年に一度改定されますが、薬価が引き下げられることに伴う価格協力等が、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

④ 工場の閉鎖及び操業停止

技術上もしくは規制上の問題、使用原材料の供給停止、インフルエンザ等のパンデミック、または火災、地震その他の災害等により、工場が閉鎖または操業停止となった場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

⑤ 内部統制の整備等

当社グループは、金融商品取引法に基づく財務報告に係る内部統制の評価および監査を基準ならびに実施基準に準拠し、財務報告に係る有効な内部統制システムを整備し、その適正な運用に努めております。しかし、内部統制が有効に機能せず、あるいは予期しない内部統制上の問題により、多大な損失が発生した場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

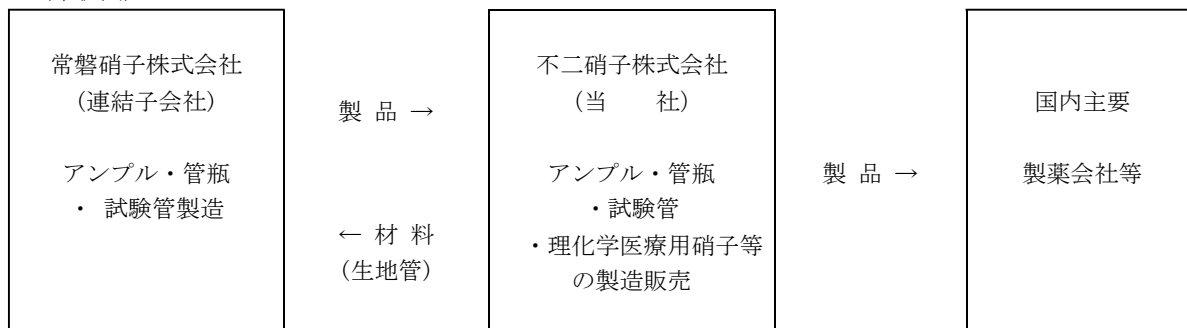
⑥ 金融市況

市場性のある株式等を保有しているため、株式市況の変動によってはこれらの株式等の売却損や評価損が生じる可能性があります。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社（不二硝子株式会社）及び連結子会社（常磐硝子株式会社）より構成されており、当社はアンプル、管瓶（バイアル瓶）、試験管、理化学医療用硝子等の製造及び販売を事業としており、常磐硝子株式会社は、アンプル、管瓶、試験管を製造して、すべて当社へ販売しております。

（系統図）



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	583,661	618,928
受取手形及び売掛金	598,515	630,639
有価証券	234,758	252,040
商品及び製品	317,768	276,399
仕掛品	3,393	3,306
原材料及び貯蔵品	48,422	41,345
未収入金	30,581	38,935
その他	4,256	2,876
貸倒引当金	△756	△757
流動資産合計	1,820,602	1,863,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,255,627	1,278,251
減価償却累計額	△911,015	△938,616
建物及び構築物（純額）	344,611	339,635
機械装置及び運搬具	2,115,047	2,111,426
減価償却累計額	△2,024,291	△2,023,309
機械装置及び運搬具（純額）	90,756	88,116
土地	442,518	442,518
建設仮勘定	11,304	7,470
その他	67,714	71,295
減価償却累計額	△63,463	△61,224
その他（純額）	4,250	10,071
有形固定資産合計	893,441	887,812
無形固定資産		
投資その他の資産	2,503	2,177
投資有価証券	1,070,100	1,214,920
繰延税金資産	12,154	12,019
その他	41,785	43,329
貸倒引当金	△7,617	△7,307
投資その他の資産合計	1,116,422	1,262,962
固定資産合計	2,012,367	2,152,952
資産合計	3,832,970	4,016,666

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	131,516	129,335
1年内返済予定の長期借入金	135,400	111,800
未払法人税等	14,472	16,889
未払事業所税	7,259	7,304
賞与引当金	59,780	61,504
その他	106,278	153,238
流動負債合計	454,706	480,070
固定負債		
長期借入金	106,800	78,000
繰延税金負債	258,583	301,864
役員退職慰労引当金	166,270	176,176
退職給付に係る負債	108,781	113,245
資産除去債務	28,816	28,831
固定負債合計	669,251	698,117
負債合計	1,123,958	1,178,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,100	107,100
資本剰余金	582	582
利益剰余金	1,903,399	1,934,804
自己株式	△33,848	△33,848
株主資本合計	1,977,233	2,008,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	652,471	749,975
その他の包括利益累計額合計	652,471	749,975
非支配株主持分	79,307	79,864
純資産合計	2,709,012	2,838,478
負債純資産合計	3,832,970	4,016,666

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	2,474,713	2,452,971
売上原価	2,018,578	1,968,143
売上総利益	456,135	484,827
販売費及び一般管理費	428,422	448,859
営業利益	27,713	35,968
営業外収益		
受取利息	45	110
受取配当金	17,658	18,162
受取賃貸料	8,084	8,460
その他	5,017	9,452
営業外収益合計	30,805	36,185
営業外費用		
支払利息	2,767	1,923
賃貸費用	4,436	4,095
営業外費用合計	7,203	6,018
経常利益	51,314	66,135
特別利益		
固定資産売却益	120,844	71
投資有価証券売却益	—	6,505
特別利益合計	120,844	6,576
特別損失		
固定資産除却損	157	160
特別損失合計	157	160
税金等調整前当期純利益	172,001	72,552
法人税、住民税及び事業税	24,717	27,460
法人税等調整額	29,796	△3,338
法人税等合計	54,513	24,121
当期純利益	117,487	48,430
非支配株主に帰属する当期純利益	2,487	1,607
親会社株主に帰属する当期純利益	115,000	46,823

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	117,487	48,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95,001	97,503
その他の包括利益合計	95,001	97,503
包括利益	212,489	145,934
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	210,002	144,327
非支配株主に係る包括利益	2,487	1,607

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	107,100	582	1,803,817	△33,848	1,877,651
当期変動額					
剰余金の配当			△15,418		△15,418
親会社株主に帰属する当期純利益			115,000		115,000
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	99,582	—	99,582
当期末残高	107,100	582	1,903,399	△33,848	1,977,233

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	557,469	557,469	77,870	2,512,990
当期変動額				
剰余金の配当				△15,418
親会社株主に帰属する当期純利益				115,000
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	95,001	95,001	1,437	96,439
当期変動額合計	95,001	95,001	1,437	196,021
当期末残高	652,471	652,471	79,307	2,709,012

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	107,100	582	1,903,399	△33,848	1,977,233
当期変動額					
剰余金の配当			△15,418		△15,418
親会社株主に帰属する当期純利益			46,823		46,823
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	31,405	－	31,405
当期末残高	107,100	582	1,934,804	△33,848	2,008,638

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	652,471	652,471	79,307	2,709,012
当期変動額				
剰余金の配当				△15,418
親会社株主に帰属する当期純利益				46,823
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	97,503	97,503	557	98,061
当期変動額合計	97,503	97,503	557	129,466
当期末残高	749,975	749,975	79,864	2,838,478

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	172,001	72,552
減価償却費	61,800	56,629
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△685	1,724
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△61	△309
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,394	9,906
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3,001	4,463
受取利息及び受取配当金	△17,703	△18,272
支払利息	2,767	1,923
有形固定資産売却損益 (△は益)	△120,844	△71
売上債権の増減額 (△は増加)	48,820	△32,123
たな卸資産の増減額 (△は増加)	112,273	48,534
仕入債務の増減額 (△は減少)	△23,255	△2,181
未収入金の増減額 (△は増加)	16,366	△8,354
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,303	23,276
その他の支出	△462	8,151
小計	258,715	165,847
利息及び配当金の受取額	17,697	18,248
利息の支払額	△2,690	△1,885
法人税等の支払額	△27,481	△25,042
法人税等の還付額	—	2,743
営業活動によるキャッシュ・フロー	246,241	159,911
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△237,336	△245,609
定期預金の払戻による収入	189,324	213,081
有形固定資産の取得による支出	△24,944	△43,080
有形固定資産の売却による収入	124,421	—
無形固定資産の取得による支出	△1,632	—
投資有価証券の取得による支出	△1,484	△1,558
投資有価証券の売却による収入	—	7,500
その他の支出	△144	△1,544
投資活動によるキャッシュ・フロー	48,204	△71,211
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	90,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△178,200	△152,400
配当金の支払額	△15,374	△15,230
非支配株主への配当金の支払額	△1,050	△1,050
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,624	△68,680
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	189,821	20,020
現金及び現金同等物の期首残高	433,017	622,838
現金及び現金同等物の期末残高	622,838	642,858

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）
当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）
当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%を占める顧客がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%を占める顧客がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,279.19円	1,341.90円
1株当たり当期純利益金額	55.94円	22.78円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	115,000	46,823
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	115,000	46,823
期中平均株式数 (千株)	2,055	2,055

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当連結会計年度の生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
	生産高(千円)	前年同期比(%)
アンプル	235,692	93.2
管瓶	1,659,696	106.2
その他	52,597	100.9
合計	1,947,985	104.3

(注) 金額は平均販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当連結会計年度の受注状況を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
アンプル	305,833	87.9	81,902	88.5
管瓶	2,157,668	112.2	666,889	153.6
その他	206,741	84.3	28,562	85.4
合計	2,670,243	106.1	777,353	138.8

(注) 金額は平均販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当連結会計年度の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
アンプル	316,479	94.7
管瓶	1,924,869	101.8
その他	211,623	84.4
合計	2,452,971	99.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。